



2023-2024 ガバナー月信
GOVERNOR'S
Monthly Letter



© 中山仁史 / K2



地域に希望を育てよう！

国際ロータリー第2510地区 2023-2024年度ガバナー 松浦 光紀

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル 7F

TEL (011) 207-2510 FAX (011) 207-2512 E-mail: rid2510@pxva.ne.jp <http://rid2510.org>



国際ロータリー第2510地区

2023-2024年度地区目標

「地域に希望を育てよう」

1. クラブの戦略計画を打ちたて、会員増強を実現しよう
2. ポリオデーに参加しよう
3. 地域に根ざした青年奉仕を充実させよう
4. オンリーワンチャレンジをみつけよう

・ ガバナーメッセージ	1p
・ 第6グループIM報告	2p
・ 3月財団・米山奨学会寄付	3p
・ コーディネーターニュース	4p
・ ハイライトよねやま	7p
・ 新会員のご紹介	10p
・ 訃報	11p
・ 例会場変更のお知らせ・ガバナー事務所からのお願い	12p
・ 3月会員数報告	13p
・ 地区カレンダー5・6月	14p
・ ガバナー事務所だより・編集後記	15p
・ 表紙の解説	16p



ガバナーメッセージ

国際ロータリー2510地区
ガバナー

松浦 光紀

(小樽南RC)

4月に入り、小樽の自宅の屋根の雪も消え、庭の雪の下から新しい草花の芽が見えてきました。雪が多かったせいで、一部の雪囲いが破損していました。その為、新しいデザインの庭創りをする事にしましたが、庭の部材の整理を行い、新しい庭創りに取り掛かることとし、準備として一部のコーナーの改変を計画しました。徐々に始める計画ですが、季節は待つはくれません。

4月6日には第10、11グループの函館市で開催されたIMに参加して参りました。「若い世代の視点と女性会員の視点からの提言」との演題で武部幸紀地区若い世代会員増強委員長と、日浅尚子地区女性会員増強委員長よりご講話をいただき、今後の会員増強に大いに役立てる内容になっていました。

また同日の6日と7日には小樽の朝里川温泉で新会員合宿セミナーが開催されました。初日は、第10、11グループのIMに参加していた為、参加が叶いませんでしたが、夜のうちに小樽に帰省し、7日の朝から参加させて頂きました。当日はグループセッションが行われ、夫々の発表に参加することが出来ました。新人研修は、新人だけではなくロータリーを理解して頂く上で、大切な研修であると感じた次第です。

4月13日は第6グループのIMに参加させて頂き、福井敬悟パストガバナーによる「公共イメージの向上について」の基調講演が行われ、懇親会では第6グループの佐藤慶一ガバナー補佐によるサプライズのピアノ演奏も披露され、大いに盛り上がりました。

16日はガバナー指名・諮問委員会、18日からは東京で開催されたクラブ活性化ワークショップに参加致しました。翌19日午後にはガバナー会議に出席し、日本国内の関連組織と密に連携し全体として連携の効率化を図ることを目的に、組織連携委員会規約が決議されました。今回の会議では、ガバナー会に関係の深いロータ

リーの関連組織の活動内容について改めて理解を深めさせて頂きました。

20日には地区RL1の修了式、懇親会に参加し楽しいひと時を過ごさせて頂きました。

21日には地区職業奉仕委員会主催の「第2回職業奉仕研修会」がZOOMにて開催され、玉井清治ガバナーノミニーによる「決議23-34」の演題でご講演いただき大変好評のうちに終了いたしました。

同日の午後には、札幌市に於いてローターアクトとカナダから来日された交換留学生との交流会に参加させて頂きました。写真はその時の様子で書道体験などの交流を楽しんでおりました。

今月はガバナー指名委員会において、札幌ロータリークラブより古野重幸氏の推挙を受け2026-27年度ガバナー就任が決まった事は大変喜ばしいこととなりました。



第6グループIM報告

IM実行委員会 幹事 米山 幸宏 (小樽RC)

2024年4月13日(土)、小樽RCのホストにより、グランドパーク小樽にて第6グループのIMを開催いたしました。ご来賓として松浦光紀ガバナー、福井敬悟パストガバナーにご臨席を賜り、岩内RC・倶知安RC・小樽南RC・小樽銭函RC・蘭越RC・余市RC・小樽RCの各クラブより156名の会員のご登録をいただきました。最初に佐藤ガバナー補佐よりご来賓並びに参加クラブの紹介と渋谷繁男小樽RC会長の歓迎の挨拶に続き、佐藤ガバナー補佐より本年度のIMのテーマ「ロータリーと公共イメージ」の趣旨説明を含めた挨拶を頂きました。その後、松浦ガバナーよりご丁寧なるIM開催へのご祝辞を頂きました。

休憩を挟み、公共イメージ向上委員会カウンセラーの福井パストガバナーから「公共イメージの向上について」をテーマに基調講演をして頂きました。その後、各クラブより今年度の活動をご報告いただき、その活動をどのように公共イメージ向上に繋げているかフォーラム形式で質疑を行いました。そののち松浦ガバナーより本日のIMに対する講評を頂きました。最後に佐藤ガバナー補佐より次期ガバナー補佐と次期開催地のご紹介をし、次期開催地の山田一晴蘭越RC会長のご挨拶を頂き、松倉弘IM副実行委員長長の閉会の言葉と佐藤ガバナー補佐の点鐘で終了いたしました。

その後、懇親会へと移動し、杉江俊太郎IM実行委員長のご挨拶、松浦ガバナーによる乾杯で懇親会の幕が上がりました。途中、佐藤義久次期ガバナー補佐から各クラブの次期会長・幹事をご紹介いただき、アトラクションでは「旅するピアノ」の皆様による素敵なピアノ演奏と歌声、そして佐藤ガバナー補佐も演奏に参加するサプライズもあり、終始和やかにクラブを越えた歓談は続き、和気あいあいの内に時間が進行しました。安田友美子ソングリーダー、佐藤ガバナー補佐によるピアノ伴奏で「手に手つないで」の輪が会場いっぱいに広がり、最後に秦健一郎小樽RC次期会長の言葉で懇親会が閉会となりました。

この紙面をお借りして、今年度のIM開催にご協力いただいた各クラブそして会員の皆様に感謝申し上げます。



米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌北RC 出村 知佳子 会員 (17回) 3月17日
 札幌手稲RC 大塚 哲也 会員 (2回) 3月29日
 札幌清田RC 真鍋 昌市 会員 (3回) 3月28日

米山功労クラブ

札幌北RC 第34回 3月17日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

メジャードナー

札幌西北RC 小林 秀樹 会員 レベル1 3月2日

ベネファクター

函館東RC 國谷 大輔 会員 3月27日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢RC 大作 佳範 会員 (5回) 3月26日
 静内RC 山口 央志 会員 (1回) 3月15日
 白老RC 加藤 恭久 会員 (4回) 3月26日

ポール・ハリス・フェロー

長万部RC 木幡 正志 会員 3月26日

LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを



第3地域 ロータリーコーディネーター補佐 大森 克磨（大分キャピタルRC）

私の職業分類は弁護士です。

私が所属する大分県弁護士会では、2023年1月に研修テーマとして、LGBTQ+の方々に関する法的問題が取り上げられました。

また、同年9月には、この問題が、九州弁護士連合会の定期大会の報告テーマにもなりました。

私自身も、現在、性別変更手続きを手がけており、LGBTQ+の方と接しておりますが、LGBTQ+の方々は既に身近な存在となっております。

さて、「LGBTQ+の人びとが参加しやすいクラブづくりを」（寄稿者：グラント・ゴディノ[オーストラリア]会員）というタイトルの記事を目にしたのは、3、4年前のことで、おそらくロータリーの友ではなかったかと思います。

ロータリーは、「多様性、公平さ、インクルージョン(DEI)の原則」を大切にしておりますし、また、ロータリーは、ハラスメントのない環境を維持することに力を注いでおります。

ロータリーの捉えるハラスメントとは、「大まかに定義すると、個人またはグループを、以下の特性に基づいて、言葉であれ身体的であれ、脅迫、中傷、侮辱または攻撃する言動を指す：年齢、民族、人種、肌の色、障がい、宗教、社会経済的地位、文化、性別、性的指向、または性自認。（ロータリー章典26.120.会合、行事、または活動におけるハラスメントのない環境から抜粋）」とのことです。

しかし、LGBTQ+の方々への接し方はDEIの観点からだけではありません。

LGBTQ+の方々の人口割合は、2022年鹿児島県弁護士会の調査では全人口の約8%、2023年電通ダイバシティ・ラボ調べでは約9.7%、と推定されており、数字のブレは多少あるものの、相当数いらっしゃると思います。

私はロータリーコーディネーター補佐であり、その任務は、ロータリーコーディネーターを補佐して、会員増強や戦略計画策定の普及などを図ることとなります。

日本では、女性（この場合は生まれながらに与えられた性が女性）の会員が10%に満たず、女性のロータリアン獲得を目指さなければなりません。上記の数字をみれば、LGBTQ+の方々も大きな会員増強のターゲットであることが分かります。

LGBTQ+の方々は、我々ロータリーにとっては、DEIの問題だけではなく会員増強のターゲットと考えるべきだと思います。



（九州弁護士連合会での配付資料）

手っ取り早くブランディング



第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター補佐 深尾 兼好（鹿児島西 RC）

先日、地域リーダー会議で東京にメンバーが集まった折、面白い議論が持ち上がりました。

「正式ロゴのバッジをつけているメンバーがほとんどいないのはどうして」「昔のバッジに愛着があるのよね」「横長のバッジはすぐにひっくり返る」「バッグがバッジに引っかかる」「ROTARYと

此れ見よがしに入っているのも気が引けて」「徽章に限りマークのみの使用を認めているのも中途半端」「でもロータリーのブランディングを推進している RPIC、ARPIC は正式ロゴのバッジをつけるべきだよね」・・・と喧々諤々。謙譲の美德=陰徳を是とした時代から一転して、素晴らしい行為はあらゆる手段を講じて社会に伝えるべしという公共イメージの向上が叫ばれ始め、その一環としてのブランディングが重要課題となっています。ブランディングとはロータリーの理念をベースに行動指針を定め視覚や言語を通じて社会の情感にアプローチすること。決してロゴデザインをガイドライン化し管理するに留まるものではありません。

私は長年、広告という業界に身を置き、嘗て多くの企業の CI(コーポレート・アイデンティティ)戦略(ブランディングという言葉が一般化する以前の企業のイメージ戦略)に携わってきましたが、MI(マインド・アイデンティティ)=企業理念と BI(ビヘビア・アイデンティティ)=行動指針、この両者を表現する VI(ビジュアル・アイデンティティ)からなる CIの本質をなおざりにして、マーク・ロゴだけが無意味に残存する例をたくさん見てきました。世界の有名企業の多くは明確な企業理念と行動指針を持ち、社員の意識も高く期待通りの事業を展開し、これらをシェアするインパクトのあるコミュニケーションの中でビジュアルとボイスが一貫しています。マークを目にするだけで、メッセージに触れるだけで、その企業の魅力が見えてきます。これはロータリーのブランディングにも言えることです。手っ取り早くは、社会の話題となるような奉仕プロジェクトを仕掛け、ロータリーのボイスを意識したメッセージと、ストーリーテリング、自分自身のこととしてロータリーでの体験や感動を語る。会場の設営や PR 素材は、ビジュアル・アイデンティティを統一し、ロータリーカラーと正しいロゴを使用する。要所は画像で取り込みネットで配信するだけでいいのです。ブランディングは、ロータリーと社会とを繋ぐインターフェイス、時々刻々コミュニケーション手段は変わります。嘗ては電車の中でサラリーマンが手にしていたのは新聞、家庭ではテレビ。ところが今では電車の中では皆がスマホを見て、家庭ではテレビより長時間 SNS につながっています。是非是非お試しください。

ポール・ハリス・ソサエティ(以降 PHS とする)へのご協力をお願いします。



第3地域 ロータリー財団地域コーディネーター補佐 吉原 久司 (尾道 RC)

PHS とは毎年継続的に 1,000 米ドル以上を年次基金、ポリオプラス基金、ロータリー災害救援基金、財団が承認した補助金のいずれかに寄付して下さるロータリー会員とロータリー財団支援者を認証するものです。

2013 年に創設されて以来 PHS は大きく成長してきました。その寄付額はロータリー財団年次基金の 21%、財団への寄付全体の 20%を占めています。PHS の会員数は 2014 年に 10,607 人(84 か国)でしたが 2023-24 年度には 32,000 人以上(154 か国)にまで増えています。世界の PHS 会員数の上位国は①米国 15,530②韓国 5,805③インド 1,705④日本 1,396 名となっています。(2023 年 11 月 1 日現在)

PHS に入会には入会時に一括で 1,000 米ドルを寄付する必要はなく、各年度に合計が 1,000 米ドルとなるように、どのように寄付するかは寄付者が決めることができます。その後の年度も、一括で 1,000 米ドルでも、ロータリー年度末までに少額を何回かに分けても、どちらでも結構です。入会方法はマイロータリーPHS のページから開くことができますし各地区のガバナー事務局からも手続きをとることができます。認証方法は地区単位で行われるプログラムであり、贈呈の方法は各地区で異なります。ガバナー並びにエレクトの皆様は地区大会などの公式行事の際に認証式を行うなど積極的に取り組んで頂きたいと思えます。

ポール・ハリスは、「どんな白昼夢でも、それが良い夢で、実現させることができるのなら、悪い癖とは言えない」と言ったそうです。ロータリーでは、地元や世界で素晴らしいプロジェクトや活動を行うことで、夢を実現しますが、これは、ロータリアンや支援者の方々の惜しみない寄附があるからこそ可能となります。ぜひ皆様方には PHS の精神をお汲み取り頂き入会をして頂けるようお願い申し上げます。

2023-24年度(2023年7月1日～) 地区別 ポール・ハリス・ソサエティ会員数と増加数

第1地域 14地区

地区	2500	2510	2520	2530	2540	2550	2560	2570	2770	2790	2800	2820	2830	2840	合計
PHS数 (本年度 増加数)	13 (2)	84 (2)	5	47 (7)	2	24 (2)	21 (1)	38 (9)	45 (2)	73 (2)	5 (1)	117 (4)	17 (1)	7	498 (33)

第2地域 9地区

地区	2580	2590	2600	2610	2620	2630	2750	2760	2780	合計
PHS数 (本年度 増加数)	116 (2)	53 (1)	12	11 (2)	11 (1)	30 (1)	222 (11)	68 (24)	33 (1)	556 (43)

第3地域 11地区

地区	2640	2650	2660	2670	2680	2690	2700	2710	2720	2730	2740	合計
PHS数 (本年度 増加数)	14	17	70 (2)	9	22	87 (2)	118 (3)	12 (4)	23 (3)	11 (3)	14 (6)	397 (23)

合計
1,451名
(99名増)

2024年4月4日現在



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

ハイライト よねやま

vol. 289

2024年4月12日
発行

1. ベトナム南米山学友会 創立記念式典開催

3月10日、10番目の海外米山学友会として発足したベトナム南米山学友会の創立記念式典【会長：ホーライ フーン



数の奉仕活動を行っています。式典内では、これまでに学友会活動をサポートしてきたRCへ感謝状が贈呈されました。

さん(1973-75/桐生西RC)】が、ホーチミンにて開催されました。式典当日、当会からは若林紀男理事長、滝澤功治副理事長、相澤光春副理事長、駒井英基常務理事に加え、日本からも40人以上のロータリー会員が出席。その他、韓国、中国、モンゴル、タイ出身の米山学友も多数出席しました。また、在ホーチミン日本国総領事館の古舘誠幾首席領事が出席し、この記念すべき日を祝うために会場に集結した人数は約140人となりました。ベトナム南米山学友会は2015年から米山学友グループとして、背中に「超私の奉仕」の文字を刻むオリジナルシャツを身にまとい、児童・障がい者・高齢者のための福祉施設への慰問など、日本のRCと連携しながら多

さらに、学友会が支援している児童養護施設の子どもたちが登場し、たくさん練習した、というダンスを披露。出席者からは温かい拍手が送られました。その他、レクリエーションや参加者全員による「手に手つないで」の合唱など、会場は熱気に包まれました。



2. タイ米山学友会 総会開催

2月25日、タイ米山学友会の総会がバンコク市内で開催されました。

総会はワラウト ブンロッド会長(1995-97/福岡東南RC)の挨拶に続き、今年1月に発生した能登半島地震で亡くなられた方々への黙とうが行われました。その後、財務報告、活動報告が行われ、2021年に医療機器寄贈を行ったワットプレーン病院への再訪問と近況報告会の開催、昨年8月に開催された米山学友による世界大会「再会 in 関東」への参加などが紹介されました。

また、ワラウト会長の後任となる次年度会

長選挙が行われ、現在副会長を務めるペチニンナレスさん(1994-96/越谷RC)が会長となることが決定。次年度から新たな体制で学友会活動をスタートさせます。



3. 2024 学年度奨学生採用とオリエンテーション開催

2024 学年度の奨学生は 932 人となりました。新規採用者 634 人、継続者 298 人です（4 月 1 日現在）。国・地域別では、中国 40.6%、ベトナム 14.6%、韓国 12.9%、インドネシア 4.6%、マレーシア、モンゴルが同率で 3.0%の順です。プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が 875 人（学部 421 人、修士 263 人、博士 191 人）、地区奨励奨学金が 23 人、クラブ支援奨学金が 8 人、海外学友会推薦奨学金が 1 人、海外

応募者対象奨学金が 25 人となっています。

4 月末までに新規採用者に対して各地区でオリエンテーションが開催されます。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かく、新たな奨学生をお迎えください。

4. 寄付金速報 — 今年度も残り 2 か月半 —

前年同期比

+ 1.8%

普 - 1.4% 特 + 3.3%

3 月末までの寄付金は前年同期と比べて 1.8%増（普通寄付金：1.4%減、特別寄付金：3.3%増）、約 2,110 万円の増加となりました。

た。ロータリー会員の皆さまからのご支援に厚く御礼申し上げます。今年度も残り 2 か月半ほどとなりました。4 月以降は新規奨学生に関する行事も増加しますので、引き続き米山記念奨学事業へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

5. 3 クラブ合同例会 主役は米山学友

3 月 13 日、東京浅草 RC・東京上野 RC・東京浅草中央 RC による「3 クラブ合同例会」（主催：東京浅草 RC）が都内にて開催されました。今回の合同例会は“米山学友の活躍”にスポットを当てたもので、二部構成で開催されました。

第一部はアメリカ出身で、沖縄に住みながら「長寿」沖縄の食生活とライフスタイルを研究・発信するクリスタル バーネットさん（2017-18 / 那覇南 RC）の卓話が行われました。



卓話を行うクリスタルさん

「長寿の秘訣は、食べる物ではなく食べ方にあります。楽しんで食事をする。そして、生きる目的を持ち、ソーシャルコネクションを持ち続けること」であり、それらすべてが「ロータリーライフに通ずるものがある」と語り、会場を沸かせました。



米山学友 4 人によるパネルディスカッション

第二部では、クリスタルさんに加え、モンゴル出身のエンフボルド ガンエルデネさん（2014-15 / 東京江東 RC）、中国出身の崔立剛さん（2008-09 / 青森 RC）、朱インインさん（2010-11 / 札幌東 RC）が登壇。4 人によるパネルディスカッションが行われ、「なぜ日本に残って働くのか」「東京で働く上での苦労」などについて、それぞれの体験談が披露されました。

今回のプログラムを立案した東京浅草 RC の田原績会長は、「今日、この日を心待ちにしながらも、参加が叶わなかった元地区米山奨学委員長であり、私の盟友でもある小森谷典明さんに良い報告ができそうです。ロータリー会員の皆さんに米山奨学事業について少しでも関心を持ち、日本に残って頑張る米山学友を応援していただければと思います」と、話しました。

6. 恩返しボランティア活動

2月23日、関東在住で新疆ウイグル自治区出身の米山学友、イスカンダル アブドバリさん(2017-18/川越RC)、スライマン アボレケモさん(2019-20/坂戸RC)、スマイルジャン エメットさん(2017-19/金沢RC)、アハット アブリズさん(2017-19/久留米東RC)を含む20人のグループが石川県の七尾市と羽咋郡志賀町にてボランティア活動を行いました。

当日は2つのグループに分かれ、一組は羽咋郡志賀町でウイグル料理のポロやスープ250人分の提供、もう一組は七尾市の被災現場で復旧作業を行いました。現地では、他のボランティア参加者と協力しながら作業を行い、被災した方々からは感謝の言葉をたくさんもらったそうです。なお、共にボランティアに参加した20人全員が日本で仕事をしており、これまでの恩を少しでも返すことができれば、という思いで参加したそうです。

アブドバリさんは、アボレケモさん、エメットさん、アブリズさんと共に「NPO法人JUアカデミー基金」を設立し、理事長を務めています。優秀な日本在住のウイグル出身留学生および中央アジアからの私費留学生へ、奨学金の支給や学習サポートを行っており、これまでに16人を支援。また、経済的支援が必要な日本人小学生にも奨学金を付与することを決定し、今後実施していく予定とのことです。



羽咋郡志賀町で振る舞ったウイグル料理のポロ

7. スリランカカレーで心も身体も温かく

韓国出身で大宮北RC会長を務める米山学友、金福漢^{キム}さん(1995-97/大宮北RC)が第2610地区穴水RCと協力し、能登半島地震の被災地でスリランカカレーの炊き出しや復旧ボランティアを行いました。



スリランカカレーを用意する金さん(左)

経緯として、穴水町にある福祉施設「精育園」から、全国の社会福祉施設に対して救援要請が出され、さいたま市でNPO法人 織の音アート・福祉協会「織の音工房」の代表を務める金さんが支援を決断したことが背景にあります。

3月21日に石川県入りした金さんは、共に現地入りした職員と翌日の炊き出しの準備と、スリランカカレーの仕込みを行いました。なお、このカレーは第2720地区 Japan O.K ロータリーEクラブ会員の米山学友で、共に第2代よねやま親善大使を務めたスチッタ グナセカラさん(2010-11/別府RC)が提供してくれたそう

です。22日に精育園に到着した金さん一行は、穴水RCの東四柳史明会長、鳥越豊子幹事、七海友也会長エレクト、舞谷繁ガバナー補佐と合流。前日から準備した、無農薬の野菜をたっぷり使い、ココナッツミルク

で辛味を抑えて作ったというスリランカカレーを振る舞い、精育園の入居者らと交流しました。23日も七尾市などで炊き出しや復旧ボランティアに参加するなど、精力的に活動を行った後、24日に埼玉へ戻ったそうです。

金さんは、「現地は復旧の遅れが深刻で、継続的支援の重要性を感じました。ボランティアに行けなくても、大きな支援はできなくても、被災者に心を馳せ、応援している方が多くいる、という事を伝えられて良かったと思います。被災された方々の『忘れられるのが一番怖い』という言葉が胸に刺さりました。これからも、できる支援を続けていきます」と、語りました。

新会員のご紹介



滝川RC
土佐 文平
令和6年1月11日
福祉サービス業



室蘭東RC
中村 卓也
令和6年4月10日
飲食業



室蘭東RC
藤井 聡之
令和6年4月10日
住宅情報業



滝川RC
清水 剛
令和6年4月11日
金融業



恵庭RC
田中 芳憲
令和6年4月17日
北海道議会議員



千歳RC
宮崎 知宏
令和6年4月18日
ビール製造



千歳RC
小林 雅樹
令和6年4月18日
ガス事業



千歳RC
桑畠 義人
令和6年4月25日
電力事業



千歳RC
本田 嘉彦
令和6年4月25日
ハンドリング
旅客サービス



千歳RC
鈴木 美輝
令和6年4月25日
旅客サービス

※入会日順

訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに
心からご冥福をお祈りいたします



会員氏名 丹治 秀一 (千歳RC)

逝去日 2024年4月19日
ロータリー歴 1972年9月 入会
1984～85年度 会長
1983～84年度 副会長

委員長歴 分収造林組合組合長、環境保全委員長、
SAA委員長、ロータリー財団委員長、
職業奉仕委員長、ロータリー情報委員長

表彰歴 ロータリー財団
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(4回)
米山功労者



会員氏名 武田 邦彦 (滝川RC)

逝去日 2024年4月6日
ロータリー歴 1975年3月3日 入会
(チャーターメンバー)
1977～78年度 副幹事
1978～79年度 幹事
1979～80年度 SSA委員長
1982～83年度 ロータリー財団委員長
1986～87年度 出席委員長
1989～90年度 副会長
1990～91年度 会長エレクト
1991～92年度 会長
1994～95年度 情報委員長

表彰歴 ポール・ハリス・ソサエティ
ベネファクター (1回)
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー(2回)
米山功労者マルチプル (4回)

例会場変更のお知らせ

岩内ロータリークラブ
会長 井筒 徹
幹事 山本 満弘

この度、2024年4月25日より例会場を下記に変更となりましたのでご報告申し上げます。

記

新例会場 あづまビルディング3F aduma building
〒045-0003
岩内郡岩内町万代3-6

TEL 0135-62-1744 FAX 0135-67-7731

尚、例会日時（木曜日12:30～）には変更はございません。

ガバナー事務所からお願い

1. クラブの例会・会員数報告について

毎月の最終例会から15日以内にガバナー事務所へFAXかメールにて提出するようにお願い致します。

2. 変更等のご報告について

新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日、職業分類をお知らせ下さい。

また、会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、お写真を至急ご報告くださいますようお願い致します。

3. クラブの移動例会等について

地区ホームページにフォームがありますので、アクセスしてご連絡下さい。地区ホームページ⇒クラブ情報⇒例会変更フォームの順でアクセスできます。（ホームページにアクセスが難しい場合はFAX、メールでお送り下さい）

4. 各月ごとのクラブ会報について

当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。

5. ガバナー月信への原稿寄稿について

特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1～2枚をご同封願えればと考えています。原稿締切り日は毎月5日です。（メールでのご連絡にご協力ください）

ガバナー事務所

〒060-0042 札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7階

TEL(011)207-2510 / FAX(011)207-2512

E-mail: rid2510@pxva.ne.jp 執務時間: 午前10時～午後5時30分(土・日・祝日休み)

最新ロータリーレートは地区HPをご覧ください

3月会員数・例会数報告

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2023.7.1	2024.3.31	増減	内女性
1	深川	3	30	29	-1	2
	羽幌	3	34	31	-3	1
	留萌	3	25	25	0	3
	小計		89	85	-4	6
2	赤平	3	19	20	1	2
	芦別	2	26	26	0	1
	砂川	3	39	38	-1	2
	滝川	3	85	82	-3	6
	小計		169	166	-3	11
	3	美唄	3	19	21	2
江別	4	34	36	2	1	
江別西	4	34	33	-1	3	
岩見沢	4	87	93	6	1	
岩見沢東	2	12	12	0	1	
栗沢	3	16	15	-1	0	
栗山	3	24	24	0	4	
当別	3	26	26	0	2	
小計		252	260	8	13	
4	札幌	3	119	114	-5	2
	札幌はまなす	4	18	19	1	2
	札幌北	2	37	35	-2	6
	札幌モーニング	3	36	38	2	0
	札幌西	3	47	45	-2	7
	札幌西北	3	38	37	-1	7
	札幌手稲	4	34	34	0	4
	小計		329	322	-7	28
5	札幌東	3	109	107	-2	2
	札幌清田	2	11	11	0	3
	札幌幌南	4	59	60	1	4
	札幌真駒内	3	21	22	1	6
	札幌南	3	82	79	-3	5
	札幌大通公園	2	12	13	1	3
	札幌ライラック	2	10	11	1	1
	新札幌	2	25	25	0	6
	小計		329	328	-1	30
6	岩内	3	24	25	1	1
	倶知安	2	32	34	2	4
	小樽	4	74	75	1	5
	小樽南	4	52	50	-2	3
	小樽銭函	3	11	13	2	1
	蘭越	2	9	9	0	0
	余市	2	38	38	0	3
小計		240	244	4	17	

※岩見沢RCには岩見沢ネクストロータリー衛星クラブの会員数16名(内女性会員0名)を含む

※札幌西北RCには札幌西北ひまわりロータリー衛星クラブの会員数10名(内女性会員4名)を含む

※函館五稜郭RCには五稜郭すざらんロータリー衛星クラブの会員数8名(内女性会員0名)を含む

クラブ数	69
期首会員数	2,361人
当月末会員数(女性)	2,372人(190人)
増加会員数	11人

グループ	クラブ名	例会数	会員数			
			2023.7.1	2024.3.31	増減	内女性
7	千歳	3	74	71	-3	12
	千歳セントラル	3	44	43	-1	10
	恵庭	3	45	46	1	4
	北広島	2	15	17	2	2
	長沼	3	15	15	0	3
	由仁	2	7	6	-1	0
	小計		200	198	-2	31
8	えりも	2	16	17	1	1
	三石	2	11	10	-1	0
	様似	3	12	12	0	2
	静内	3	59	59	0	5
	浦河	3	16	20	4	2
	小計		114	118	4	10
	9	伊達	3	59	58	-1
室蘭	3	29	31	2	2	
室蘭東	3	26	29	3	2	
室蘭北	3	49	50	1	2	
登別	4	25	25	0	2	
洞爺湖	2	10	12	2	1	
小計		198	205	7	11	
10	函館	2	63	70	7	3
	函館亀田	3	30	32	2	3
	森	2	35	34	-1	1
	七飯	4	14	14	0	0
	長万部	3	9	9	0	0
	函館セントラル	4	22	23	1	2
	小計		173	182	9	9
11	江差	2	9	10	1	0
	函館五稜郭	4	56	55	-1	1
	函館東	2	35	36	1	7
	函館北	0	11	9	-2	1
	北斗	4	11	12	1	0
	小計		122	122	0	9
12	白老	3	29	27	-2	3
	苫小牧	4	59	56	-3	2
	苫小牧東	4	32	33	1	8
	苫小牧北	3	26	26	0	2
	小計		146	142	-4	15
合計		2,361	2,372	11	190	

地区カレンダー5・6月

5月 青少年奉仕月間	
1 (水)	
2 (木)	
3 (金)	憲法記念日
4 (土)	みどりの日
5 (日)	子どもの日
6 (月)	振替休日
7 (火)	
8 (水)	
9 (木)	
10 (金)	
11 (土)	札幌真駒内RC創立50周年記念式典
12 (日)	
13 (月)	
14 (火)	
15 (水)	
16 (木)	
17 (金)	
18 (土)	岩見沢RC創立70周年記念式典
19 (日)	RLIセミナー卒後コース
20 (月)	
21 (火)	
22 (水)	
23 (木)	
24 (金)	
25 (土)	国際大会(シンガポール)～29日
26 (日)	
27 (月)	
28 (火)	
29 (水)	
30 (木)	
31 (金)	RYLAセミナー(小樽)～6月2日

6月 ローターリー親睦活動月間	
1 (土)	栗沢RC創立60周年記念式典
2 (日)	第1グループIM(深川)
3 (月)	
4 (火)	
5 (水)	
6 (木)	
7 (金)	
8 (土)	第7グループIM(恵庭)
9 (日)	
10 (月)	
11 (火)	
12 (水)	
13 (木)	
14 (金)	
15 (土)	
16 (日)	現新引継会議(札幌)
17 (月)	
18 (火)	
19 (水)	新札幌RC創立40周年記念式典
20 (木)	インターアクト年次大会(札幌)～21日
21 (金)	
22 (土)	ローターアクト年次大会(札幌)
23 (日)	
24 (月)	
25 (火)	
26 (水)	
27 (木)	
28 (金)	
29 (土)	
30 (日)	

ガバナー事務局だより

4月も終わりGWも終わった時点で5月号原稿を書かせていただいております。本当は毎月下旬には原稿を提出しなければならないのですが、毎回遅れている事、ガバナー事務局からもお詫び申し上げます。

さて、5月には11日札幌真駒内RC創立50周年記念式典、18日岩見沢RC創立70周年記念式典とお祝い事が続きます。その後、5月25日から世界中のロータリアンとロータリーファミリーが集うRI国際大会が、東南アジアの拠点都市シンガポールで行われます。本地区より40名ほどのロータリアンが、好意と友情を深めてまいります。

当初、私も参加予定でしたが、前号でもご紹介した通り足首骨折により、残念ながら断念する事となりました。どうにか退院まではこぎつけましたが、まだまだリハビリが続いている毎日です。

あと2ヶ月、走り抜ける事???はできなくなりましたが、ゆっくり歩きながら松浦ガバナーのお供に徹したいと思います。

地区代表幹事 齋藤 仁

編集後記

ガバナー月信委員会のある小樽では、春の訪れを感じる日が増え雪もすっかり溶けました。桜はすでに散ってしまいましたが、まだ肌寒い日が続いています。同じ第2510地区でも、羽幌と函館やえりもでは気候が大きく違いますので、ひとこと春と言っても皆様の地域で感じられる風景は様々なことでしょう。

今回でガバナー月信は、第11号の発行となりました。最終号となる第13号まで残り3号となり、終わりが見えてきたものの過去の月信を振り返ってみますと、発行が遅延することもあり、編集委員会としては成長しているのか自問することもございます。

地区事務所や地区幹事の皆様の温かいサポートに支えられて、何とかここまでやってこることができました。本当にありがとうございます。

残りの号も引き続き気を引き締めて、皆様にご満足いただける内容をお届けできるよう、一層努力してまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

ガバナー月信委員会 中山 仁史

表紙の解説

春の朝里川ダム

まだ雪が残る余市岳。ダムは雪解け水で水が満ちており、朝里川はその放水によってゴーっという音を立てながら激流を形成しています。公園では、人々がテニスを楽しんだり、開花したばかりの桜など自然景観を楽しむ姿が見えます。



写真:© 中山 仁史 /K2.

